



8月21日(月)に、海洋教育研修会(教員対象)「海上から見る郷土三浦」を行いました。参加者は15名でした。

YMCA三浦ふれあいの村の青木信哉さんの指導で、シーカヤックで沖に漕ぎ出しました。ほとんど初心者ということで、最初は写真を撮る余裕はありませんでしたが、次第に、み



なさん写真を撮り始めました。苦勞をしつつ、撮影した写真をいくつか紹介します。



陸に上がった後、お互いが撮った写真を、プロジェクターを使って、見せ合い、評価し合いました。指導していただいた青木さんにも評価をいただきました。

参加者の感想より

「黒崎、荒崎、長浜海水浴場を海から見ることにより、砂浜がどうしてできたのかを考えるきっかけになりました」「海から三浦を見るという体験ができて、地形の様子がよくわかりました」「三浦を海から見るという発想がおもしろかったです。新たな発見もできました」「荒崎や黒崎など、普段行かない場所を海から見ることができました。独特の地形が興味深かったです」「カメラで撮ると、自分が意識して見た景色以外の様子、一瞬が残るので、戻ってきて見直すと新たな発見があった」「海の水がきれいだった。もっともっときれいにするためには、どのような取組ができるのだろうかと考えました。9月のキャンプで、体験させていただくので、参考にさせていただきます」「30年前に比べると、格段に水がきれい」「防水カメラであるがゆえに、撮影できる場面が広がることができました」 (文責 事務局長 渋谷)

